

理事長の  
つぶやき

NPO的な人材を探さなければ…

## 「うきはの宝」を見習って「ざっしょの宝」を探したい… 博多区南部で「ばあちゃんビジネス」を興したいですね。

今、ここに「ばあちゃんビジネス」という本があります(著者は大熊充氏、出版社は小学館、価格は1500円+税)。副題に「従業員は75歳以上のおばあちゃん!年商1億円(目標)」とあります。私はこの手の本が目につくと中身はともかく、すぐ買って読みたくなります。こういう本大好きです。

数年前に、徳島県の山間部で、料理の「つま」として飾る葉っぱ類を、地域のおばあちゃんたちが、集まって、収穫して、揃えて、出荷して、最盛期は年間2億6000万円も売り上げたということが話題になり、“いろどり”という映画にもなりましたね。こんな話を聞くと私は興奮しますし、高齢者だって誰かが旗を振れば、こんなことでもやれるのだ…と思ってしまいます。

## 高齢者が「社会のお荷物と言われないように…」

これからますます高齢者の時代になるのですが、それに伴い「高齢者が社会のお荷物になるぞ…」という若者たちの声が大きく聞こえ始めてきました。確かに少子化になり高齢者はまだ増えることになると、若い世代が黙っておれなくなるのは当たり前でしょう。このままでいけば、高齢者に対する政治の取り組みに厳しい批判が押し寄せてくるのは目に見えています。日本社会で「若者」対「高齢者」という世代間対立が、政治の場で激しく角突き合わせる社会が見えるようです。

そういう中で、人生100年時代の高齢者は、少しでも、世のため人のために貢献することを考えないと、不満とか苦情ばかり口にしていると、世間の片隅に閉じ込められるのではないかと心配しています。そうならないためには何か世の中のためになる仕事を作って、その中でだれが見ても確かに社会貢献しているという姿を示さないといけないことになるでしょう。それを急がないといけないと思うのですが、ただ、それが「何をすればいいのか」が難しいのです。

## 雑餉隈に「ざっしょの宝」を作りたい…

### どなたか仲間になって一緒に考えてほしいのですが…

冒頭に書きましたが、「うきはの宝」という会社が「ばあちゃんビジネス」という本を出版しているのをネットで見ました。通販で本を買った経験がほとんどなかったのですが、人に習って代金をコンビニに払い込み、やっとアマゾンから本を手に入れました。その中身ですが大雑把に言うと次の様な中身です。

「うきはの宝」とは、うきは地域(雑餉隈から見れば、原鶴温泉の川向こうで、日田の手前あたり一帯で福岡県内でもフルーツの産地として知られた地域)の高齢者を集めて株式会社をつくり、そのおじいちゃんやおばあちゃんに得意な食べ物を作ってもらって、それを全国販売するとか、地域の拠点に飲食施設を作って、そこで食べてもらう…などということを仕事にしているというのです。その地域の高齢者を「宝もの」と位置付けたのが、「うきはの宝株式会社」なのでしょう。そこで働いてもらう様子を「うきはの宝株式会社」の社長である方が本にまとめて出版しているのです。

同時に、この会社は「ばあちゃん新聞」を月刊で発行し、年間12回を6,575円(税・送料込み)で全国発送しているというのです。記事内容は「うきはの宝」のことが主体ですが、全国の同じような話も載っています。この会社がどれくらい売り上げているのかわかりませんが、私たちの町にも「ざっしょの宝」を作ることができたらいいですね。

この話に興味のある方、仲間になってください。これから誰もが高齢者になるのですから、その高齢者が社会のお荷物と言われないように、NPO法人そよかぜの活動に参加してほしいです。仲間になつて、地域の高齢者によるビジネスを作ることや助け合い活動に、力を貸してほしいのです。みんな高齢者になるのですから、いろいろご意見を聞かせてください。受付電話：092-502-7900

NPO 法人



ざっしょのくま

福岡市博多区銀天町 1-6-12(銀天町商店街アーケード内)TEL : 092-502-7900

令和7年8月1日発行

# 臨時号 6-2 通信

次回は  
10月1日発行予定

## 「暮らしのお手伝い」訪問します

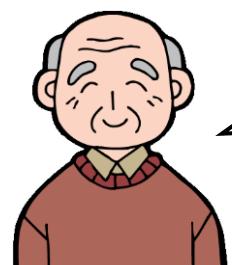
炊事 洗濯 掃除 買物 見守り 付添い 小修理 …など

## 困った時は「人の駅:助け合い・サポート」にお電話を!

受付平日 9:00~17:00 電話番号 092-502-7900

そよかぜ「人の駅」で行っている助け合いサポートは、「困ったときはお互いさま」の有償ボランティア制度です。「誰か手伝って…」と困っている人と、「私にできることは手伝うよ…」というセンターさんとをつなぐ役目が「人の駅」です。NPO法人としてそよかぜがこの事業を始めた当初(25年ほど前)は、無償のボランティアでした。しかし、社会の進歩に伴って、徐々に有償ボランティアという概念が認められて、現在は「助け合い・サポート」1時間につき1750円の有償制度にしています。交通費等も含んだ額です。このうち1500円を助け合い・サポートに従事してくださった方の報酬としてお支払いし、残りは運営経費に充てています。

つい最近までは、利用する方に1時間当たり1050円負担してもらい、サポートして下さる方に900円お支払いしていました。この料金改定については大幅すぎないかと躊躇しました。しかし、交通費等込みでのこの価格は、福岡市界隈では格安であり、このままお願いしていこうと考えています。ただ、お金をいただく以上、サポート・助け合いに従事する人たちも、利用者から苦情など言われることがないように、十分留意しないといけません。職員研修に務めながら、地域の皆様のお役に立ちたいと思っています。



### 誰か手伝うて！

炊事・洗濯・掃除・買物など、身の回りを手伝ってほしい。  
外出したいが一人では不安。庭の手入れ。  
独居の親の見守りがほしい。育児の相談…など。

### 私でよかなら、手伝うてよかよ！

資格はないけど、家事は得意。話し相手や本の朗読はできる。  
日曜大工はまかせて。子供の相手はできます。  
パソコン教えに行きますよ…などなど。

